

鳳徳だより

—学校評価—

平成29年3月16日



京都市立鳳徳小学校
校長 木原 加代

TEL: 075-491-3592
FAX: 075-491-0616
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/hotoku-s/>



平成28年度 後期学校アンケート結果のお知らせ

日ごとに暖かさを感じられるようになりました。平素は本校教育に何かとご支援ご協力いただきましてありがとうございます。

保護者の皆様には、お忙しい中、学校アンケートにご協力いただきありがとうございます。保護者アンケート、児童アンケートをふまえ、継続していくべきところ、改善していくべきところを明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

また、アンケート結果をもとに、学校運営協議会の皆様と1年間の教育活動を振り返り、皆様から適切なご助言やご提案をいただきました。

★児童アンケート★

児童アンケートは、学校生活に関する8項目、家庭生活の5項目、合計13の質問を行いました。前期と比べてポイントが上がったのは、「たのしくがっこうにきている。」「かぞくやせんせい、ちいきのひとにじぶんからすんであいさつをしている。」「あいてのはなしをしっかりきいている。」「いえでのがくしゅうをいつもしている。」の4項目でした。

	質問項目	実現度
学校生活のこと	たのしくがっこうにきている。	6.3
	かぞくやせんせい、ちいきのひとにじぶんからすんであいさつをしている。	5.7
	ともだちとなかよくしている。	6.4
	あきらめずにさいごまでがくしゅうしている	5.8
	ものをたいせいつにし、あとかたづけをしている。	5.5
	きまりややくそくをしっかりまもっている。	5.7
	はつきりとじぶんのおもいをはなしている。	5.4
家庭生活のこと	あいてのはなしをしっかりきいている。	6
	いえでのがくしゅうをいつもしている。	5.9
	いえでほんをよんでいる。	4.7
	かぞくのいちいんとしておてつだいをしている。	5.2
	おうちのひととじぶんのことやがっこうのことをはなしている。	5.5
	はやね・はやおきなどけんこうをかんがえてすごしている。	5

★保護者アンケート★

保護者アンケートは、子どもと学校のこと12項目、子どもと家庭のことの6項目の質問を行いました。(重要度・実現度の最高値は「7」、ニーズ度: 重要度-実現度の相関、最高値は「49」)

「子どもと学校のこと」のほとんどの項目で、前期よりポイントが上がりました。保護者の皆様が本校教育に多大なご理解・ご協力いただいた結果だと思います。感謝申し上げます。

	質問項目	重要度	実現度	ニーズ度
子どもと学校のこと	子どもは楽しく学校に通っている。	6.9	7.9	0.7
	子どもは家族や先生、地域の人に進んで挨拶をしている。	6.6	6.8	7.9
	子どもは友だちと仲よくしている。	6.7	7.6	2.7
	子どもはあきらめずに最後まで学習している。	6.6	6.9	7.3
	子どもは物を大切にし、後片付けをしている。	6.6	5.9	13.9
	子どもはきまりや約束を守っている。	6.7	6.9	7.4
	学校はわかりやすい授業をしている。	6.7	7.2	5.4
	学校は健康や安全に配慮した教育活動を行っている。	6.7	7.3	4.7
	学校は人権を大切にした教育活動を行っている。	6.5	7.2	5.2
	学校は保護者と連携を密にしている。	6.2	7.2	5
子どもと家庭のこと	学校は保護者と連携した取り組みを行っている。	6	7	6
	学校は方針や取組をわかりやすく伝えている。	6.1	7	6.1
	子どもは早寝・早起き等、健康を考えて過ごしている。	6.7	6.4	10.7
	子どもは家庭学習の習慣が身についている。	6.6	6.6	9.2
	子どもは家庭で読書をしている。	6.3	5.7	14.5
	子どもは家庭で手伝いをしている。	6.2	5.8	13.6
保護者	保護者は子どもと触れ合う機会をもっている。	6.7	7	6.7
	保護者はPTA活動や地域行事に参加している。	5.3	6.1	10.1

この二つのアンケートから、まずは良かった点について分析します。

児童アンケートでポイントが上がった4つの項目は、まさに本校児童の良さを表していると思います。子どもたち自らが「たのしくがっこうにきている。」と思っていることが、学校として、とても嬉しいことです。全校生徒が集まる朝会や集会でも、本当に上手に話を聞くことができます。また、昨年に引き続き、代表委員会の子どもたちが朝の挨拶運動を1年間頑張ってくれました。おかげで、前期より実現度が0.1ポイント上がりました。

今年の特徴と言えるのは、「いえでのがくしゅうをいつもしている。」だと考えました。前期より0.1ポイント上がっており、今年度から全校で始めた自主学習の効果も表れているのではないかと思います。決まった宿題ではなく、何をするか自分で考えるのは難しいことですが、それを考えるにも思考力が必要です。自分が興味を持てることや継続できることを見つけると、主体的に取り組めます。今年度の取組を生かして、学年に応じた形で続けていきたいと思います。

次に、ニーズ度の高い点についてです。

「いえでほんをよんでいる。」については、変わらず1番の課題と言えます。学校では今年度、図書の取組にも力を入れてきました。そして、図書ボランティアの皆様には、例年の読み聞かせやブラックパネルシアター等の活動のほかに、図書ボランティアだよりの発行や本の紹介の掲示、図書室の整備などをしていただきました。学校では朝のさわやかタイム等で読書をする時間を作っていますが、家庭では読まない児童が多いようです。家庭には、テレビやゲームなど、子どもたちの興味を引くことがたくさんあります。今、家庭生活の中に、読書をする時間を見つけるのは大変なことかもしれません。しかしながら、読書から得るものは多く、子どものうちに読書をする習慣を身に付けることはとても大事なことだと考えます。ご家庭でも、読み聞かせや図書館の活用等、親子のコミュニケーションの一つとして取り入れていただきたいと思います。

「子どもは物を大切にし、後片付けをしている。」「子どもは家庭で手伝いをしている。」も例年課題として挙がってきます。これについては、それぞれのご家庭による事情も異なり、満足のいくことは中々ないでしょう。求めることが高くなり、実現度も低くなりがちです。そこで、考えてみました。子どもたちが、「おてつだいをがんばった」と思えるようにする、というのはどうでしょう。つまり、できたときにはほめて認めるということです。大人もそうですが、子どもたちは、ほめられるのが大好きです。学校教育においても、子どもたちが学んだことを活かせる場面を作り、頑張ったことを認め合える活動を多く取り入れるようにしています。ぜひ、ご家庭でも、頑張りを認められる場面を作っていただきたいと思います。



保護者アンケートでは自由記述もご記入いただき、ありがとうございました。紙面の都合上、いくつかのご紹介になりますが、いただいたご意見は全て教職員、学校運営協議会で共有し、今後の取組に生かしていきます。

○私の子ども時代と比べると、ずいぶんきめ細やかに子どもを見守ってくださっていると思います。学校の課外活動(大宮商店街でのインターンシップ、伝統芸能、たてわり遊び、地域の高齢者との触れ合いなど)も充実していてよいと思います。希望としては、大学の研究者などに来てもらい、子どもの知的好奇心が広がるような出前授業をしてもらえたたらと思います。

○たてわり活動をとても楽しくさせていただいているようで、他学年にお友達ができたことを報告してくれます。それだけ近所の人でも関わりを持つ機会のないことが分かりました。娘を見ていてとても大切なことであると感じております。

○先日の先生方やPTAの役員さんによる人権劇がとてもよかったです。子どもたちがとても喜んでいましたし、じっくり考えながら見ている場面もたくさんあったように思います。後ろから見ても、子どもたちがしっかり学び、考えを深めていることが伝わってきました。ぜひ、来年以降も続けていただけたら

嬉しいです。練習が大変だと思いますが・・・、よろしくお願ひ致します。

○鳳徳校の子どもたちの歌声が素晴らしいと思います。ほかほかタイムのほか、学芸会でも歌うこと、演じることを楽しむ姿が見られ、さすがだと思います。日々の積み重ねがあってのことだと思いますので、今後もぜひ続けていただきたいです。

○平日以外でも、子どもたちが楽しめる行事をいろいろと企画していただき、ありがとうございます。夏に水難事故の防止訓練が行われますが、そちらは授業内で行い、全員が勉強することができると嬉しく思います。

○いつもご指導ありがとうございます。担任の先生にはいつも熱心に温かく接していただきおり、本当に感謝しております。先日、子どもから聞いたのですが、児童会の規則のようなもので、低学年の筆入れはファスナー式が禁止、ランリュックのキーホルダーは2つ以上禁止等々決められたと聞いています。最終的には校長先生が決定することですが、根拠は何なのでしょうか?小学校のうちは規則にしばるべきがないように思います。日頃から華美なものは持たない等指導があれば、みんな常識の範囲で行動できると思います。

お答えします

今年度、子どもたちの主体的な活動を大切にして、児童会活動を活性化し、新しい取組にチャレンジしています。児童会本部や代表委員会の子どもたちがたてわり活動や児童会活動について話し合い、企画・推進を行い自治的な活動を経験することで、学校をよりよくしていこうとする態度を育てたいと考えています。ご意見は、子どもたちが話し合って自分たちの学校をよりよくするために決めた「ほうとく小学校“児童の約束”」についてのものだと思います。日頃からご家庭で十分お心配りしていただきしておりますので、もっともなことだと思いますが、今回は、子どもたちが「学校をもっとよくするためにきまりをきめよう。」と考え自分たちの生活を振り返って行動し、話し合ったことを尊重して発行いたしました。「みんな守っているのでこれはもう必要ないよ。」「これについてはきまりにしなくてもよいのでは。」という意見が子どもたちから出て来て、さらにより良いものにしていく力が鳳徳校の子どもたちにはあると思います。そのような自治的な活動、自分の考えを学校全体に活かしていく態度の育成を目標として取り組んでいます。児童会の子どもたちの思いが一人一人の児童に届くよう指導できなかったことを振り返り、来年度も取組を進めていこうと考えていますので、ご理解・ご支援いただければ有難く思います。

★学校運営協議会から★

3月9日に学校運営協議会が開かれ、委員の皆様に後期の学校アンケート結果を報告するとともに、ご意見をいただきました。毎月の学校だよりやホームページでもご紹介しておりますが、各団体の皆様には、ふれあい活動を始め、授業の中でも大変お世話になりました。今年は、多くの地域の方に子どもたちに向けてお話を来ていただき、学校と地域のつながりをより一層感じることができました。今後もこのつながりを大切にして、保護者・地域の方と一緒に子どもたちを育てていきたいと考えております。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。

- ・あいさつがよくできると、カレー作りの時に市長がほめてくださいました。
- ・木の伐採を2年に1回行っているが、来年度、様子を見て検討したい。
- ・例年自転車教室を4年生で行っている。免許証をもらうことで、交通ルールを守れるようになり、子どもの事故が少ないと感じる。
- ・配食ボランティアは今年度から3年生と行ったが、子どもたちとたくさん話すことができてよかったです。
- ・カレー作りのときに、貼り紙があったのに遊具で遊んでいたので、危ないと感じた。
- ・放課後まなび教室は放課後の居場所としてニーズが高まっており、実施回数も増やしている。アドバイザーやサポートーの先生方のおかげで子どもたちののびのびと活動できたが、スタッフの人数が減っているので、保護者や地域の方などにぜひご参加いただきたい。
- ・図書ボランティアの活動では、おたよりの発行や掲示物の作成など、新しい活動ができた、これからも子どもたちが図書室に行きたいと思えるよう、環境整備をしていきたい。
- ・ドッジビー大会では多くの参加があった。先生が審判をしてくれてありがたかった。
- ・歩こう会は、大人より子どもたちの方が元気だった。子どもの人数が少なかつたが、達成感や自信につながった。